

殺菌・消毒剤(第2類医薬品)

「ネオクロール90W」

持続性粗粒剤

〈有効成分〉トリクロロイソシアヌル酸
〈有効塩素量〉90%

使用方法

●カラフルプールの場合

クロリネーターを使用することで残留塩素をより均一に供給できます。

●コンクリートプールの場合

1. 遊泳開始30～60分前に標準使用量をプールサイドからできるだけ均一に散布してください。
2. 遊泳しない場合(休日、夜間)でも残留塩素を保持させてください。

●遊泳中に残留塩素が少なくなった場合は、プール水100mlに対して40～60g(時間当たり)の割合で補充してください。(残留塩素を0.1mg/L上昇させるにはプール水100mlに対して約15gが必要です。)

●標準使用量(遊離残留塩素0.4mg/L以上で5時間管理)

プール水量	100m ³	200m ³	250m ³	300m ³	350m ³	400m ³	450m ³	500m ³	1,000m ³
ネオクロール90W	200～300g	400～600g	500～750g	600～900g	700～1,050g	800～1,200g	900～1,350g	1,000～1,500g	2,000～3,000g

殺菌・消毒剤(第2類医薬品)

「ネオクロール・ニュー・S」

速溶性顆粒剤

〈有効成分〉ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
〈有効塩素量〉63%

使用方法

1. 遊泳開始5～15分前に標準使用量をプールサイドからできるだけ均一に投入してください。
2. 遊泳しない場合(休日、夜間)でも残留塩素を保持させてください。

●遊泳中に残留塩素が少なくなった場合は、プール水100mlに対して40～60g(時間当たり)の割合で補充してください。(残留塩素を0.1mg/L上昇させるにはプール水100mlに対して約20gが必要です。)

●標準使用量(遊離残留塩素0.4mg/L以上で5時間管理、全換水時に塩素安定剤A-30使用)

プール水量	100m ³	200m ³	250m ³	300m ³	350m ³	400m ³	450m ³	500m ³	1,000m ³
ネオクロール・ニュー・S	200～300g	400～600g	500～750g	600～900g	700～1,050g	800～1,200g	900～1,350g	1,000～1,500g	2,000～3,000g

殺菌・消毒剤(第2類医薬品)

「ネオクロールT-20SD」

速溶性錠剤

〈有効成分〉ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
〈有効塩素量〉55%

使用方法

●プール本体

1. 遊泳開始5～15分前に標準使用量をプールサイドからできるだけ均一に投入してください。
2. 遊泳しない場合(休日、夜間)でも残留塩素を保持させてください。
3. 開封後はできるだけ早く使いきるようにしてください。(吸湿等によって崩壊性が低下する恐れがあります。)

●遊泳中に残留塩素が少なくなった場合は、プール水100m³に対して2～3錠(時間当たり)の割合で補充してください。(残留塩素を0.1mg/L上昇させるにはプール水100m³に対して約1錠が必要です。)

●足腰洗槽

水1m³に対して6～10錠の割合で投入してください。

塩素安定剤

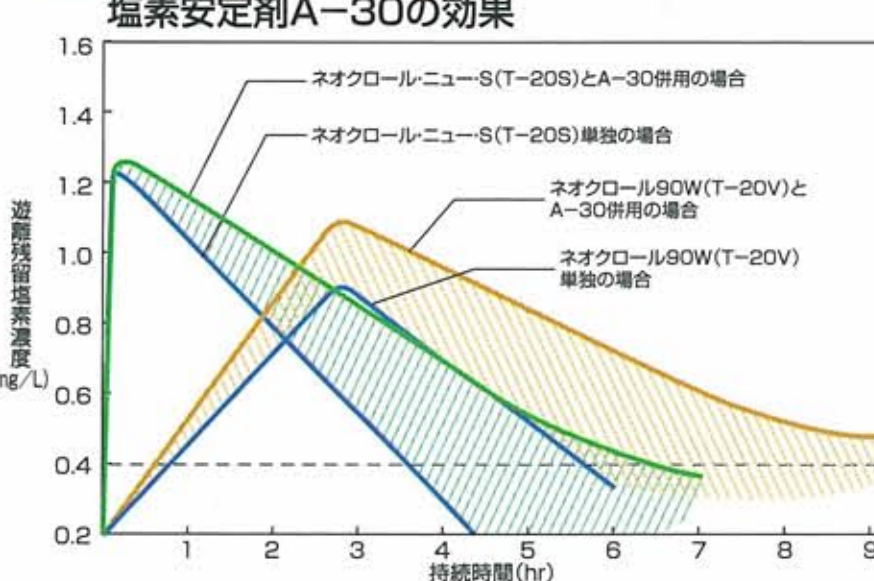
塩素安定剤「A-30」

顆粒剤

全換水時に、集水口を避けて標準使用量を均一に散布してください。
(注水開始後、水深が30cm程度になった時に散布すれば作業が簡単です。)

●クロリネーターによる注入は絶対にしないでください。(爆発のおそれがあります。)

塩素安定剤A-30の効果



〈主成分〉イソシアヌル酸

使用方法

●標準使用量(毎日投入する必要はありません)

プール水量100m³毎に

A-30を3.0kg



紫外線などによるプール水中の残留塩素の自然分解を防ぐ薬剤です。

一般の塩素は、日光(紫外線)により1時間に1.0mg/L以上の消耗がありますが、ネオクロールは、1時間に0.2mg/L程度の消耗で、長時間にわたり0.4mg/L以上の管理ができ、さらに塩素安定剤A-30を使用すればなお効果的です。

プール用脱塩素剤

「クロリイーター」

顆粒剤

〈主成分〉亜硫酸ナトリウム

使用方法

●プール水及びプール掃除後の排水

プール本体の残留塩素濃度が異常に高い場合、プール水を排出する場合に使用してください。残留塩素濃度を1.0mg/Lだけ下げるのに必要なクロリイーターの量は、プール水100mlに対して200gで、これをあらかじめバケツに溶解し、できるだけ均一に散布してください。プール掃除に塩素剤を使用した場合も同様に0.4mg/L以下に中和してください。

●クロリネーターによる注入は絶対にしないでください。(爆発のおそれがあります。)

●足腰洗槽の排水

槽内の水を排出する前に残留塩素濃度を測定し、クロリイーターを散布して中和してください。

●標準使用量

水量/濃度	50mg/L	75mg/L	100mg/L
0.5m ³	50g	75g	100g
1m ³	100g	150g	200g
1.5m ³	150g	225g	300g

※標準使用量(g)=残留塩素濃度(mg/L)×水量(m³)×2

除藻/防藻剤

「アクアクリンG」

顆粒剤

〈主成分〉ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム

使用方法

●藻の予防

プール期間中の遊泳終了後や休日前に、週1程度、特に降雨直後にはその都度、所定量を投入すると、藻の発生を予防し水質も良くなります。

●除藻

藻が発生した場合には遊泳を一時中止し、ろ過機を停止した後、所定量を投入してください。翌日、水を補給しながらろ過機を運転してください。

●シーズン前(水抜き前)の殺藻

プール掃除の7日前にプールを満水にして、所定量のアクアクリンGを投入してください。放置後、排水しながらブラッシングしてください。

●プール清掃時

樹脂製容器(ポリバケツ等)でアクアクリンGを溶かし、ブラッシングしてください。

●標準使用量

使用目的	アクアクリンG
藻の予防	500～600g/プール水100m ³
除藻	約2,000g/プール水100m ³
シーズン前の殺藻	約4,000g/プール水100m ³
プール清掃時	40～50g/水10L

排水時の注意
(例)pH9の状態をpH7以下になるよう、脱塩素剤クロリイーターを使用して調整してください。

除藻/防藻剤

「アクアクリンL」

液体

〈主成分〉カチオン系ポリマー

使用方法

●シーズンオフの防藻

1回の投入で長期間にわたり藻の繁殖を防ぐことができ、翌シーズンの清掃が簡単になります。

●使用上の注意

- アクアクリンLは、魚毒性があるため魚を飼っている池などには使用できません。
- 翌シーズンに河川へ放流する場合は魚毒性対策を行ってから放流してください。
- 藻の種類や水質によって効果に差があります。

●短期休止時の防藻

お盆休みや連続休暇などで、しばらくプールを休止する期間の藻の繁殖を防止します。人体には安全ですので、安心してプールを再開できます。

●除藻の効率化

除藻処理時にアクアクリンGを併用すると、効率的な除藻ができ、プール清掃を容易にします。すやかなプール再開ができます。

●標準使用量(シーズンオフの防藻)

水量(m ³)	200	400	600	800	1,000
アクアクリンL(kg)	5	10	15	20	25

※投入は、ポリバケツ等で希釈し、周囲より投入してください。
※投入終了後はろ過機を停止してください。(アクアクリンLの成分がろ過機に捕集されて防藻効果が低下します。)

●標準使用量(短期休止時の防藻)

水量(m ³)	200	400	600	800	1,000
アクアクリンL(kg)	0.6	1	2	3	3
アクアクリンG(kg)	1	2	3	4	5

※投入終了後は、ろ過機を停止してください。(アクアクリンLの成分がろ過機に捕集されて防藻効果が低下します。)

●標準使用量(除藻)

水量(m ³)	200	400	600	800	1,000
アクアクリンL(kg)	0.6	1	2	3	3
アクアクリンG(kg)	3	6	10	12	15

※各々別々に投入し、終日ろ過機を運転してください。(ろ過圧の上昇に注意してください。)

※遊泳開始にあたっては、残留塩素濃度をチェックし、基準値に合わせてください。

pH調整剤

「ペールプラス」

〈主成分〉炭酸ナトリウム(ソーダ灰)

使用方法

プールの水のpHが酸性になった場合はペールプラスをプールサイドから均一に散布してpHを中性付近(7.0～7.5)にしてください。

●標準使用量

(例)pH5の状態をpH7にするには、100m³の水につき3.5kgが必要です。(下のグラフは、標準的な使用量です。正確には補給水、水質によって異なります。)



包装:ダンボールケース NET12kg 3kgポリエチ袋×4袋入り

●クロリネーターによる注入は絶対にしないでください。(爆発のおそれがあります。)

注意 警告

pH6 アップ

pH調整剤

「ペールマイナス」

〈主成分〉硫酸水素ナトリウム(重硫酸ナトリウム)

使用方法

プールの水のpHがアルカリ性になった場合はペールマイナスをプールサイドから均一に散布してpHを中性付近(7.0～7.5)にしてください。

●標準使用量

(例)pH9の状態をpH7にするには、100m³の水につき3.0kgが必要です。(下のグラフは、標準的な使用量です。正確には補給水、水質によって異なります。)



包装:ダンボールケース NET12kg 2kg袋×6袋入り

●クロリネーターによる注入は絶対にしないでください。(爆発のおそれがあります。)

●細かい粒状ですので、散布の際に吸い込まないように注意してください。

注意 警告

pH8 ダウン

差圧式塩素

自動供給システム

シンプルな構造で簡単管理

ろ過水圧を利用した、動力いらずの塩素供給システムです。pH調整器ペーハーアジャスターとの組み合わせでpH管理が容易になります。

簡易タイプ

「クロリネーター」

SKC-20型



仕様

型	幅	高さ	奥行	重量	耐圧	1回の最大投入量	流量計目盛	管理時間	対象プール水量	専用薬剤
SKC-20型	276mm	460mm	260mm(円筒形)	5.5kg	約0.3MPa	1.8kg(3袋)	100～500L/hr 20～160L/hr	4～8時間 8～12時間	100～800m ³ 50～300m ³	ネオクロール90W

※流量計は100～500L/hr仕様で内蔵しています。150L/hr以下の流量で使用する時は付属のフロート(テフロン樹脂)と交換してください。

※クロリネーターが安定駆動するには、循環ろ過機の差圧が0.03MPa以上必要です。(単位:1MPa≒10kg/cm²)



専用殺菌・消毒剤(第2類医薬品)
ネオクロール90W
(P5を参照ください)

注意 警告

注意 警告

学校プールに最適

水圧を利用した噴流式ですので、特別な動力を必要としません。また、軽量小型で場所をとらないコンパクト設計です。

簡単なメンテナンス

金属材料を一切使用しておりませんので、耐久性に優れ、腐食やさびの発生がありません。又、故障の原因になり易い駆動機械類を使用しておりません。

塩素管理の省力化

薬剤容器は耐圧ガラスでできており、薬剤量、流動状態が一目でわかります。操作が簡単なので1日1～2回の薬剤投入時を除き、人手を必要としません。

